

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 仙台市なのはなホーム

公表日 令和8年3月20日

利用児童数 令和8年3月2日 回収数 19

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18		1		・子どもが遊ぶには十分な広さだと思う ・友達同士ぶつかる等なく遊べていた ・手洗い場が増えると思う	危険と感じるまた死角となる場所やけがやトラブルが起こりえる場面を職員間で共有し活動に合わせた環境を作り十分に活動できるように努めます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	6	3		・人数は足りていても適切な対応がされていない ・欠員が補充されず外出時や休みが重なったときには大変そうで心配だった ・目が届いていないところで子ども同士のトラブルや園庭へ出ていくなどもあったので改善してほしい ・子どもの様子を見て丁寧に丁寧な報告をしていただいた	職員配置につきましては、体制を整えて行く予定です。子どもの怪我、事故につながるような職員同士声を掛け合い子どもの気持ちや動きを想定しながら連携し、子どもたちが楽しく活動できるように取り組みます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	3		1	・トイレがわかりやすい、トイレに行く手を洗うがまとまっていて覚えやすい ・トイレにあるお風呂は少し危険ではと思う ・椅子やおもちゃが整理されて子どもも理解していた	子どもの生活がわかりやすく、また子ども自身が主体的に動きやすいように環境を整えていきたいと考えています。トイレにあるお風呂は危険がないようにマットを敷くなどの工夫を継続し怪我につながらないように対応します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	3	1		・靴や靴下の場所が子どものマークでわかりやすい ・カーテンの汚れやおむつ替えのスペースが気になる ・昼寝で使うマットが気になった ・いつも清潔に保たれていた。子どもの作品なども飾られており楽しめた ・屋外のすべり台が好きでよく滑るがズボンのお尻の部分が汚れていた。屋外なので仕方ないと思うが清掃されているか気になった。	生活空間について清潔に保たれるよう、また活動に合っているか見直ししていきます。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	3	1	2	・専門性のある先生がいないので難しい ・先生によって対応に差があると感じる。子どもたち一人一人の特性に合わせて共通認識をもってかかわってほしい ・子どもに寄り添い理解をしてくれた。専門性があるかどうかはよくわからない	子どもの発達や障害の理解をすすめていきます。引き続き法人の理念を大切にしながら一人一人の子どもに合った丁寧な保育を目指します。OT派遣は継続していきます。ST等に関してはアールから派遣してもらうなど連携をとりすすめていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1	1	3	・あった。適切な支援を受けられたと思う	一人一人の支援プログラムに基づき取り組み適切な支援となるよう、見直しながら取り組みます。
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	1	1		・計画書で可視化されとても分かりやすかった ・適切な分析をする先生はいるのでしょうか ・入園して2か月ほどの面談で子どものことをよく理解されている担任の先生に驚いた。愛情をもって接して下さっていると感じた。	日々のかかわりを通して子どものアセスメントを深め、多職種連携しながらいろいろな視点を出しながら一人一人に合った支援プログラムを作成していきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	1	1	1	・最終的にできたこと、できていないこととのまとめのようなものがあるとわかりやすかった ・突き放すことは自立につながるのでしょうか	課題に対する具体的な取り組みを記し、日々具体的に取り組めるように支援内容を設定していきます。評価とする「あゆみ」を配布しています。保護者と子どもの発達について共有できるように努めていきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	2			・担当の先生のみが取り組んでいる ・行われていると思う	担当が中心に取り組むことが多くなりますがクラス、またクラスを超えて子どもへの取り組みとして大事な視点を共有しながら取り組みます。

保護者への説明等	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに合わせた過ごし方をしている</li> <li>・お集まりで子どもが部屋に入りたくななくなったときに先生が個別について外遊びを行ってくれた</li> </ul>	1日の流れは大きく変化はありませんが、日々の活動の工夫をしています。繰り返し遊ぶ内容や新しい活動も取り入れて興味や関心を広げ楽しめるように計画しています。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	16	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一つの保育園しか交流はない</li> <li>・あるが機会は少ない</li> <li>・一つの園との交流保育。コミュニケーション能力を高めるのにとでも良いと思う。</li> </ul>	近隣の保育園とおこなっています。一か所ですが長年かかわっている保育園ですので、交流の内容を工夫しながら取りみたいですね。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子分離前に説明があった</li> <li>・アーチルとのつながりが強く選択肢がない</li> </ul>	引き続き年度初め、また入園児に丁寧に説明をしていきます。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19			<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明があった。分かりやすくてよかった。</li> </ul>	年2回以上面談を通しこどもの姿を通してわかりやすく説明をしていきます。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・行われていた。就学についてもイメージすることができた</li> <li>・本場に必要なのはされていない</li> </ul>	毎月の保護者のつどいや保護者支援プログラム内容を見直し取り組んでいきます。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生に伝えたことが共有されていないことが多々あると感じる。些細なことも申し送りや共有をしっかりとしてほしい。</li> <li>・1日の終わりのミーティングは丁寧なミーティングでしっかりこどもを見ていることが伝わる。</li> <li>・朝、帰りに担任の先生と伝えあうことができた</li> <li>・全く理解されていないと思いました</li> </ul>	情報共有不足についてはその都度報告しあい、保護者の皆さんが不安にならないように丁寧に取り組み共通理解ができるようにしていきます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17		1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その都度相談できた</li> <li>・気になったことについては些細なことでも細かく説明や助言をもらっている</li> <li>・助言をしてくれる先生はいない</li> <li>・行われている。定期以外にも相談にのっていただいた。</li> </ul>	主に個別支援計画や進路についての面談は定期に設けていますが、子育てに関する相談もその都度受けています。いつでも相談できる関係作りを努めていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	3			<ul style="list-style-type: none"> <li>・こちらの気持ちも汲んでもらい支援をしてもらっている</li> <li>・一部の職員からしか受けていない</li> </ul>	・保護者の思いや考え方を受け止めながら共感したり様々な考え方についてやり取りしながら信頼をもらえるように努めていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	1		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少しきょうだい同士の交流がもてるとよい</li> <li>・行事だけではなく、普段の保育の様子も動画でほしい。家族と共有したい</li> <li>・家族の交流の機会になった。こどもも喜んでた。</li> <li>・自由登園時に大きい子が暴れたりするので行かなくなった。</li> </ul>	きょうだいの支援は行事で出番を作ったりきょうだいも一緒にイベントを引き続き工夫をしながら取り組んでいきます。行事の持ち方も見直しながら保護者同士ともに作業するなどつながりやすい工夫をしていきたいです。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・通園日程の調整やトイレの悩みなど幅広く相談にのってもらえた</li> <li>・悩んでいた時にすぐに相談の機会を作っていただいた。1時間ほど相談をさせていただき悩みを解決していただいた。</li> </ul>	いつでも相談できることをより周知していき保護者が相談しやすい関係づくりと雰囲気づくりに努めていきます。タイムリーに対応できるよう相談内容を職員間で共有し内容に応じた相談体制を充実していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	3	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者の欠員補充がなく忙しそうであったり伝わり切れていないときあった</li> <li>・伝えても先生間で共有されていない</li> <li>・会話を通しながら意思疎通ができた</li> <li>・情報伝達はLINEやアプリの活用も良いと思う</li> </ul>	普段の会話や単独通園のこどもは連絡帳でのやり取りを引き続き大事にしていきます。LINEやアプリの活用は仙台市に確認が必要であり慎重に検討していきたいです。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	1	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人のSNSを知った。HPの更新がされていない</li> <li>・HP、インスタも見やすく更新されている</li> </ul>	HPは行事などタイムリーに更新することに努めています。自己評価等は年度末に公表をしています。SNSは園では行っておりませんが、定期的なお便りやHP等で発信を続けていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布する書類等に個人名を入れないほうがよいと思う</li> <li>・写真等の記載について事前に確認があった</li> <li>・文集については時代に合わせ考え方を変えたほうが良いのではないか。</li> </ul>	個人情報の保護につきましては、見直しが必要なことについて話し合い対応していきたいと考えます。

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	3			<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回の避難訓練はとてもよい。本当の災害時に慌てないで済むと思う</li> <li>・なのはなホームのしおりに記載している</li> <li>・訓練が実施された報告がなかった</li> </ul>	発生を想定した防災訓練を年1回法人全体で行い、支援を継続できる訓練もこなっています。訓練の実施と内容についての周知ができるよう努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18			1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行われている。本番を想定して避難できた</li> </ul>	毎月様々な想定の下に保護者と一緒に避難訓練を継続し備えていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピューターで怪我した際は買い替えるなどの対策をしていた</li> <li>・安全確保に関する計画を周知していない</li> </ul>	安全計画についての説明をより丁寧に行います。引き続き毎日ヒヤリハットや事故報告を共有し事故防止やリスク管理に努めていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	2	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・すぐに園長や担任より説明があった</li> <li>・何度か怪我をしたが全て状況説明ができていない</li> </ul>	速やかに保護者に状況の説明や対応について報告し、こどもも保護者も安心して過ごすことができるよう努めます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16	2		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレの不安という行事で泣くことが多かった</li> </ul>	こどもたちが日々安心・安全に過ごせるように職員との信頼関係をつくり、こども一人一人の気持ちや願いに寄り添っていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	2		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年までは楽しく通園していたが、上記のことやイヤイヤ期が重なり行き渋りができた。</li> <li>・しばらくいけない日が続くとなのはなホームで歌う歌をよく口ずさんで、行くのを待ちわびていた。</li> </ul>	保護者のみなさんにこどもたちの日々の健康管理や生活リズム等を整えてもらっていることに感謝しています。こどもが期待して通えるように楽しい発達に合った遊びや活動を充実させていきます。保護者が安心してこどもを送り出せるように不安や考えを聞きながら取り組んでいきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	3	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別療育や言語聴覚士の支援があればいいと思う</li> <li>・親身になり相談を受けてもらい非常に満足している</li> </ul>	運営に関し、保護者の皆様のご理解とご協力をいただきすすめてきています。ありがとうございます。これからも、保護者の皆様のご意見をいただきながら運営を行っていきます。